

平成30年2月22日

会員各位

美しい多摩川フォーラム事務局

平成29年度 第2回 三部会合同部会

◆ 2月22日(木)、美しい多摩川フォーラムの平成29年 第2回 三部会合同部会が開催されました。概要は下記のとおりです。

- ・開催日時：平成30年2月22日(木) 15時～16時半
- ・開催場所：立川グランドホテル 3F サンマルコ
- ・出席者：副会長、部会長、運営委員、アドバイザー、会員等

◎ 三部会合同部会の概要

1. 開会

2. 副会長・部会長挨拶

3. 経過報告

- (1) 多摩川流域魅力体験事業！多摩川カヌー駅伝大会&ウォークラリー【資料1】※
- (2) 第10回・多摩川子ども環境シンポジウム開催(12/9)【資料2】
- (3) 多摩川流域魅力体験事業・事業運営連絡協議会会議開催(12/19、1/22)
- (4) 平成30年度事業計画骨子・同予算(事務方素案)(1/25 運営委員会)【資料3】
- (5) 第10回・桜ウォーキングと桜守学校開催(3/28)【資料4】
- (6) 多摩川夢の桜街道～桜の札所巡り事業
 - ① 第9回“美しき桜心の物語”の語り会(日野市・高幡不動尊〈金剛寺〉、語り部・平野啓子副会長)(4/14)【資料5】
 - ② あきる野・都立小峰公園(武蔵増戸駅～武蔵五日市駅)(4/12)
〈連携先：リビング多摩、大谷桜守〉
 - ③ 高尾・多摩森林科学園～南浅川桜並木と陵南公園(4/18)
〈連携先：京王電鉄、リビング多摩、大谷桜守、多摩森林科学園〉
- (7) 多摩川“水”大学講座(とうきゅう環境財団と共催、講師・小倉副会長)(5/18)【資料6】

4. 意見交換

- (1) 平成30年度事業計画・同予算(案)について【資料7】
- (2) 第11回・多摩川子ども環境シンポジウム開催に向けて【資料2】
～アンケート結果を踏まえて、賞の内容等について議論～
- (3) これからの10年に向けたフォーラムの取り組みについて

(4) その他

5. 部会長総括

6. 閉会

1. 開会（初参加者紹介および資料確認）

(事務局・及川)

定刻になりましたので、美しい多摩川フォーラム平成29年度第2回三部会合同部会を始めさせていただきます。始めに、1月25日の運営委員会にご出席された方には既にご紹介済で、重ねての報告になりますが、新しい事務局体制をご紹介させていただきます。本年1月1日付で、美しい多摩川フォーラム事務局担当の地域貢献部長であった今井に代わって、青梅信用金庫常務理事の野村が就任し、事務局の田村に代わって鈴木が就任し、黒米と木村、そして事務局長の私、及川というメンバーで、次の10年に向けてフォーラム事務局体制が強化されました。それでは、野村より一言ご挨拶を申し上げます。

(事務局・野村)

青梅信用金庫の野村と申します。どうぞよろしくお願いいたします。これまで、地域貢献部の担当役員として多摩川フォーラムを応援してまいりましたが、1月1日付の人事異動により、地域貢献部長を拝命しました。それと同時に、青梅信用金庫は、1月1日に組織変更を行い、地域貢献部で行っていた諸々の業務を他の部に移し、地域貢献部は美しい多摩川フォーラムの事業のみを行うことになりました。これからも、事務局の運営をしっかりとやってまいりますので、皆さまのご指導、ご協力をよろしくお願いいたします。また、隣におります及川ですが、1月1日付の人事異動により、課長から副部長へ昇進しております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

(事務局・及川)

続いて、鈴木を紹介させていただきます。

(事務局・鈴木)

鈴木です。よろしくお願いいたします。

(事務局・及川)

鈴木は田村の代わりとなります。よろしくお願いいたします。

それでは、当フォーラムのテーマソングである「多摩川の歌」の普及策の一環として、本日は、小野リサさんによるボサノヴァバージョンでお聞き下さい……。

本日はじめて部会にご出席される方をご紹介します。

(狛江市 企画財政部 政策室 企画調整担当 主任 池田 優 様)

池田と申します。1月1日付の異動に伴い、新しく担当させていただくことになりました。どうぞよろしくお願いいたします。

(明星大学 地域交流センター長 滝井 寛 様)

滝井と申します。昨年の5月から地域交流センターの担当となりました。地域の方や組織の方々との交流はまだ勉強中ですが、今後ともよろしくお願いいたします。

2. 副会長・部会長挨拶

(小倉副会長)

皆さんこんにちは。美しい多摩川フォーラムの事務局が、今後10年にむけて強化されたということで、今後に期待したいと思います。今日は、今後の10年にむけて色々なご意見をいただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(渡邊部会長)

皆さんこんにちは。今朝は雪がちらつき、だいぶ寒い中、ご出席いただき有り難うございます。本日の次第を見ていただきますと、経過報告、当面の予定、意見交換となっています。特に今回は、意見交換に時間を割きたいと思っておりますので、闊達なご意見をよろしくお願いいたします。それでは、事務局に進行をよろしくお願いいたします。

3. 経過報告

(事務局)

それでは、経過報告に移ります。前回12月の活動部会以降の当フォーラムの活動につきましては、お手元の資料の表紙に時系列でお示ししております。それでは、はじめに(1)番をビデオにまとめておりますので、前方のスクリーンをご覧ください。

— ビデオ放映 —

経過報告を続けます。

(1) 多摩川流域魅力体験事業！多摩川カヌー駅伝大会&ウォークラリー【資料1】

- ・ 【資料1】をご覧ください。青梅市、羽村市、福生市、昭島市、八王子市、あきる

野市の多摩川流域6市が連携して実施する多摩川カヌー駅伝大会&ウォークラリーが11月25日に開催されました。今年は11月24日(土)に開催する予定です。本件につきまして、青梅市建設部計画保全課計画調整係の輪千係長に一言お願いします。

(青梅市 建設部 計画保全課 計画調整係 係長 輪千 徳也 様)

昨年11月25日(土)に多摩川カヌー駅伝大会とウォークラリーを開催しました。天候にも恵まれ、事故等も無く、無事に終了することができ、関係の皆さまには感謝しているところです。今回は、今年の11月24日(土)に開催することが決定しており、担当部署では、今回の反省点も踏まえ、既にプランを立てている状況です。多摩川フォーラムさんにはまたご協力いただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

(事務局)

有り難うございました。なお、先ほどご覧いただいた多摩川カヌー駅伝大会のビデオですが、実は今回、事務局で編集しました。ここ数年は、事務局で撮影を行い、業者に編集を委託していたのですが、事務局で内製化を目指そうとトライしてみました。ご覧いただいたビデオについて、いつもと雰囲気が違うと感じられた方、いらっやいますでしょうか。

(富国生命保険相互会社 立川支社 市場開発グループ 課長 梶田 俊樹 様)

素晴らしいと思います。

(事務局)

有り難うございます。事務局の木村が編集しました。特に違和感がなければ、今後はできるだけ事務局でビデオ編集を行っていきたくと存じます。

(2) 第10回・多摩川子ども環境シンポジウム開催(12/9)【資料2】

- ・ 【資料2】をご覧ください。今年度は8組が参加し、紙芝居やパソコン、模造紙を用いた、多摩川に関する様々な発表がありました。今年からグランプリ、準グランプリを設け、グランプリには、⑦「多摩川連想ゲームPart7～FINAL～」が、準グランプリには、③「絶滅危惧種を調べよう！」が選ばれ、表彰されました。受賞者には、小倉副会長よりオリジナルのトロフィーと賞状が授与されました。続いて、【資料2】の3枚目、4枚目のアンケート結果をご覧ください。賞については賛否両論ありました。後ほど意見交換させていただきたいと存じます。

(4) 平成30年度事業計画骨子・同予算（事務方素案）（1/25 運営委員会）【資料3】

- ・ 【資料3】をご覧ください。1月25日の運営委員会において、第1号議案：平成30年度事業計画骨子・同予算（事務方素案）が承認されました。

(5) 第10回・桜ウォーキングと桜守学校開催（3/28）【資料4】

- ・ 【資料4】をご覧ください。今春も第10回桜守学校を都立小金井公園で開催します。3月1日に、後援の小金井市様のご協力により、小金井市報、フォーラムのホームページに実施内容を掲載し、募集案内を開始する予定です。

～以下、平成30年度の予定～

(6) 多摩川夢の桜街道～桜の札所巡り事業

①第9回“美しき桜心の物語”の語り会（日野市・高幡不動尊〈金剛寺〉、語り部・平野啓子副会長）（4/14）【資料5】

- ・ 【資料5】をご覧ください。今年も平野副会長にご出演いただき、日野市の高幡不動尊金剛寺客殿にて桜の語り会を開催いたします。本件につきまして、日野市環境共生部緑と清流課の平課長様に一言お願いします。

（日野市 環境共生部 緑と清流課 課長 平 義彦 様）

平野副会長が語る語り会は、毎年大好評だと聞いております。今回は、関東三大不動の一つ、高幡不動尊で開催いたします。昨年の10月より、及川事務局長と会場の下見や平野副会長の日程調整等をしてきました。ぜひ多くの皆さんにお立ち寄りいただき、楽しんでいただきたいと思います。よろしく願いいたします。

（事務局）

有り難うございました。先着60名です。平野副会長は、「しだれ桜」を全文暗誦で語られた後、地元にまつわるトーク等も披露され、毎回大変ご好評いただいております。ぜひ足をお運びいただきますよう、よろしく願いいたします。

(7) 多摩川“水”大学講座（とうきゅう環境財団と共催、講師・小倉副会長）（5/18）【資料6】

- ・ 【資料6】をご覧ください。7年目となる今年度は、とうきゅう環境財団様との共催のもと、実施する予定です。引き続き小倉副会長に講師をお願いし、水環境に関するリーダーの養成を目指します。席上配布資料、とうきゅう環境財団の財団だより「多摩川」をご覧ください。ご覧のように多摩川“水”大学講座をPRしていただきました。どうも有り難うございます。それでは、小倉副

会長に一言お願いします。

(小倉副会長)

今回はとうきゅう環境財団さんにお世話になります。財団だより「多摩川」に、こんなに大きくPR記事を掲載していただき、有り難うございました。今までは、調布、国分寺、立川、八王子、府中、小金井と、全て多摩地域で行っていましたが、7回目となる今回は、初めて23区で開催します。気持ちも新たに頑張りますので、よろしく願いいたします。

(事務局)

有り難うございました。以上で経過報告を終わります。渡邊部会長、よろしく願いいたします。

(渡邊部会長)

事務局からの経過報告および当面の予定について、ご質問などありますか。ないようでしたら、私から一つ質問があります。先ほどの多摩川カヌー駅伝大会のビデオは事務局で制作したとのことですが、事務局で内製化できれば、その費用は事業費に充てられるということですか。

(事務局)

はい、そうしたいと考えております。

(渡邊部会長)

他にご質問等はございますか。ないようでしたら、意見交換に入ります。はじめに事務局から説明してください。

4. 意見交換（部会長）

(1) 平成30年度事業計画・同予算（案）について【資料7】

(事務局)

【資料7】をご覧ください。これは、1月25日の運営委員会でご承認いただいた【資料3】の（事務方素案）をベースに、その後さらに見直しを進め、今回の案に改めた資料になります。まず、収入の部ですが、会費収入は1,950,000円を見込んでおります。寄付金として、青梅信用金庫様より8,000,000円、青梅信用金庫様より「多摩川夢の桜街道応援定期積金」販売に伴う寄付金として100,000円、委託金として青梅市様より250,000円を予定しており、前期繰越金2,213,032円と合わせて合計では12,513,032円となります。

一方、支出の部ですが、総会等運営費として、3,850,000円、各種活動費と

して5,412,000円を計上しております。なお、東北・夢の桜街道運動として、これまで2,000,000円を計上しておりましたが、青梅信用金庫の協議会事務局返上により、2,000,000円の拠出金は平成29年度を以って終了することになりました。なお、美しい多摩川フォーラムは、引き続き、東北・夢の桜街道推進協議会の構成員として機能する予定です。また、10周年記念事業の一つとして、今年度予算計上していた100年プラン・パンフレット改訂については、今年度10周年記念誌が完成した後に、この内容を織り込んだ改訂版とさせていただければということで、平成30年度予算に計上しております。この結果、次期繰越金見込額は3,251,032円となり、合計では、12,513,032円となります。

次ページは、平成30年度事業計画の主な実施内容になります。経済、環境、教育文化、総合軸に主な事業を区分しております。ご覧のとおり、継続事業が中心となります。補足説明をさせていただきますと、まず、経済軸の“美しき桜心の物語”の語り会は、日野市様のご協力をいただき、日野市高幡不動尊での開催を計画しております。多摩川夢の桜街道～札所見直し・携帯マップ改訂ですが、これは、今年度10周年記念事業として、見直しに着手することをお約束させていただきましたが、来春に公表できるように準備を進めております。

環境軸では、美しい多摩川フォーラムの森（青梅）において、昨年9月に“桜”の記念植樹を行いました。その周辺の下刈りイベントを行う計画をしております。

多摩川“水”大学講座につきましては、引き続き小倉副会長に講師をお願いし、平成30年度は7年目となります。とうきゅう環境財団様と共催する計画です。

教育・文化軸では、昨年9月に10周年記念事業の一つとして実施し、参加者から評価の高かった、平野副会長とお弟子さんたちによる「多摩の物語」の語り会を、今年度も実施できればと計画しております。次ページをご覧ください。今年度の事業活動につきましては、ほぼ計画どおりに進めております。網掛けの項目に「10周年記念誌発行」とありますが、現在、3月末の発行を目指して準備を進めております。

次ページは、平成29年度活動報告と今後の予定になります。以上で説明を終わります。渡邊部会長、よろしく申し上げます。

(渡邊部会長)

それでは、皆さん、ご質問やご意見がありましたら、お願いします。

(奥山アドバイザー)

先ほど、ビデオの編集を事務局内で行ったと報告がありましたが、今までのビデオとは違い、音楽もアップテンポで、眠くならない内容になっており、非常に良いなと思いました。ついでに、ホームページの作成も事務局内で行ったらどうでしょうか。支出の部を見てみると、ホームページ運営費が1,100,000円と、非常に突出し

ています。これを何とか低価格に抑えられれば、他にも事業活動が出来るのではないのでしょうか。

(事務局)

確かに1,100,000円は目立っておりますが、過去に見直しした後の金額になっております。内訳を申し上げますと、毎月のランニングコスト43,200円の他に、5,983円のNTT回線料を払っております。ビックリされるかもしれませんが、事務局では光回線を導入しておりません。動画を編集する際に、アップロード等で時間がかかるので、来年度の4月～5月中に光回線に移行できるように準備しております。そうするとNTT回線料が毎月数百円上がってしまうのですが、毎月のランニングコスト43,200円については、引き続き見直しを継続していきたいと思っております。

(渡邊部会長)

はい、他にいかがでしょうか。

(富国生命保険相互会社 立川支社 市場開発グループ 課長 梶田 俊樹 様)

今回、事務局で制作されたビデオは、まるで映画のプロモーションビデオを見ているような、素晴らしい編集で、プロとして仕事できるのではないかと思います。

ひとつ質問なのですが、100年プラン・パンフレットの5,000部について、使用用途や、どこに配布する予定なのかを教えてください。

(事務局)

パンフレットについては、まず会員の皆さまにお配りし、次に関係行政を通じて地域の方々にPRしていきたいと考えております。この部数が妥当かどうか、ご意見があるかもしれませんが、大量に印刷した後に中身が改訂されてしまうと無駄になってしまうので、5,000部といたしました。

(渡邊部会長)

他にご意見はありますか。

(事務局)

先ほどのホームページ運営費につきまして、補足説明をさせていただきたいのですが、「桜の開花情報」などの一部分において、業者に委託するのではなく、事務局の木村がタイムリーに対応している部分があり、当初の金額からダウンして1,100,000円となっております。

(渡邊部会長)

他にご意見はありますか。

(事務局)

度々すみません。私の認識が不足しておりまして、ホームページ運営費については、サーバーレンタル料が大半であり、多摩川フォーラムの公式ホームページ更新作業については、全て事務局の木村が対応しております。

(渡邊部会長)

なお、平成29年度事業計画・同予算(案)は、最終的には、総会提出議案を審議する3月15日開催の第3回運営委員会にて、最終決定されますことをお含みおきください。

他にないようでしたら、第11回・多摩川子ども環境シンポジウム開催に向けて、事務局から説明してください。

(2) 第11回・多摩川子ども環境シンポジウム開催に向けて【資料2】

～アンケート結果を踏まえて、賞の内容等について議論～

(事務局)

【資料2】の4枚目をご覧ください。アンケートを集計した結果、グランプリ、準グランプリを高く評価する一方、他にもユニークな賞があった方が良いといったご意見もあり、賞をもらえなかった子どもたちが可哀そうなど優劣を付けることにそもそも反対するご意見もありました。また、子どもたちが選ぶというやり方に大賛成とすぐのご意見がある一方、大人も関与した方が良いといったご意見もありました。要は、何を大切にするかということだと感じました。今日は、来年度の開催に向けて、皆さんにご意見をお願いしたいと存じます。渡邊部会長、よろしくお願いします。

(渡邊部会長)

それでは、皆さん、ご質問やご意見がありましたら、お願いします。

(事務局)

多摩川子ども環境シンポジウムに参加したことが無い方はなかなかイメージが湧きにくいかと思しますので、奥山アドバイザー、突然で恐縮ですが、昨年12月の会にはご参加いただき、ご講評もいただきましたので、個人的な感想や見解等をいただけますでしょうか。

(奥山アドバイザー)

正直に言ってよろしいでしょうか。昨年12月に参加し、色々な子どもたちが一生懸命やっているのは分かりましたが、親、あるいは学校の先生が手伝って、「やれ」と言われてやっているグループと、子どもたちが本当に多摩川を大好きで、訳が分か

らないけど川に行って一生懸命やって、結果は出なかったけど楽しかったというグループと、2タイプがあったと思います。「ヤマセミが、溪流のヤマメを食べる」と発表した子どもたちに、「ヤマセミが、ヤマメを食べる瞬間を見たことがありますか」と質問したら、「ありません」と言われました。これは、子どもたちが本やネットで調べて発表しているだけであって、食物連鎖を研究するのであれば、実際にカワセミが小魚を食べる瞬間を見たとか、カワウがフナを食べているのを見たとか、観察結果があっただけだと思っています。河原に出て一生懸命やっている子どもたちと、河原に1回しか出ていない子どもたちがいるのは、おかしいと思いました。子どもたちを募集する際、ガイドラインをしっかりと作って提案してあげると、参加者がもっと増えるのではないのでしょうか。また、親や教員には、「このくらいまでならアドバイスしても良いけど、あとはお子さんに任せてください」と言わないと、全部大人がやって子どもが丸写しするだけのグループと、ちゃんとやっているグループと、差が出来てしまいますし、見ているだけでその差が分かります。みんなが一生懸命やるように、下地を作ることも大事なのではないかと感じました。

(渡邊部会長)

有り難うございました。今のご意見に対し、事務局は何かコメントありますか。

(事務局)

今日は皆さんから忌憚のないご意見をいただきたいと思っておりますので、事務局からのコメントは差し控えさせていただきます。

(渡邊部会長)

奥山アドバイザーのご意見に対し、何かございますか。大田区の背黒様、何かご意見はございますか。

(大田区 環境清掃部 環境対策課 環境推進担当係長 背黒 勝博 様)

大田区では、NPOに委託して自然観察会を開催し、親子が参加していますが、子どもたちが主体となってできる形で運営していますので、今のご意見はその通りだなと感じました。

(渡邊部会長)

奥山アドバイザーのご意見もその通りだとは思いますが、子どもたちが色々な興味を持って、「シンポジウムで発表してみようかな」という意欲があっても良いかなと思います。厳密に言えば、実際に観察をしたり、実物を見たりして発表することが大事なのでしょうが、できるだけ皆さんに関心を持っていただくという意味では、「私

はこういうことを調べました」というものがあったとしても良いかなと思いました。他に何かございますか。子どもたちは、シンポジウムで発表する機会自体がなかなかありません。そういう機会を作ってあげて、出来るだけ多くの子どもたちに発表していただくことが大変重要であると思います。

(事務局)

昨年12月で10回目となりました。先ほどの奥山アドバイザーのご意見とは逆になってしまうのですが、当初は「ああしなさい、こうしなさい」とは言わず、敷居の全く無い状態でスタートしました。それでも第1回目は募集に苦慮しました。しかし最近、イベントも定着し、リピーターの子どもたちもいれば、初めて発表する子どもたちもいます。10回目を迎えるにあたり、毎回全員を表彰していたやり方を変えて、グランプリ・準グランプリを設けました。一時期は「ゆとり教育」で、子どもたちに優劣を付けるのはどうかという意見もありましたが、今回あえて優劣を付け、悔しさを次回のモチベーションに繋げるのも教育のひとつではないかと思いました。今回、グランプリ・準グランプリを設けて次回はやめるとなると後戻りになりますし、グランプリ・準グランプリのほかに、第三位を設けたらどうか、準グランプリをもうひとつ設けたらどうか、あるいは大人が選ぶ審査員特別賞を設けたらどうかという意見もありました。そういった意見に対する皆さまのご意見をいただけたら有り難いと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

(渡邊部会長)

日野市の平様、何かご意見はありますか。

(日野市 環境共生部 緑と清流課 課長 平 義彦 様)

浅川潤徳水辺の楽校は、開催当初から連続して出場しています。以前、潤徳小学校の校長先生に伺ったところ、一年間で多摩川フォーラムを含めたいくつかのシンポジウムに出場することが決まると、それに合わせてメンバーを選ぶそうです。子どもたちも発表に向けてしっかりと準備をし、先生たちも、子どもたちが自主的に発表できるようにサポートするそうです。そうすることで子どもたちが成長しますし、子どもたちからも積極的に「やりたい、やりたい」と手が挙がるそうです。

以前、別のシンポジウムで、2つの学校に発表してもらったのですが、ひとつの学校が緊張してしまい、上手く発表できませんでした。後で先生に聞いたところ、「それが成長に繋がるのです」とお話をされていました。たとえ発表が上手くいなくても、それまでの準備等で、子どもたちの心の成長に繋がっているのだと感じました。

(渡邊部会長)

有り難うございました。他にございますか。「多摩川子ども環境シンポジウム」を10年間続けてこられただけでも大変貴重な事だと思います。子どもたちから環境に関心を持ってもらうことが一番大切だと思います。そういった意味では、このような発表を通じて環境への関心を高めていくことが重要だと思います。

発表の評価に関する、本日の皆さまからのご意見は、事務局でまとめ、部会長や会長のご意見を聞き、次年度に繋げていただきたいと思います。

(事務局)

本件に関しまして、メールやお電話でも結構ですので、ご意見をお願いします。いただいたご意見は、部会長、副会長、会長と協議し、決めてまいりたいと存じます。

(渡邊部会長)

他にないようでしたら、(3) これからの10年に向けたフォーラムの取り組みについて、事務局から説明してください。

(3) これからの10年に向けたフォーラムの取り組みについて

(事務局)

1月25日の運営委員会において、活発な意見交換がなされました。一例をご紹介しますと、藪田部会長よりフォーラム・公式ホームページの英文化についてご意見をいただきました。

席上配付資料の SATOYAMA@TOKYO という資料をご覧ください。これは、昨年の秋、株式会社ismという、南米・北米のツアーオペレーションや冒険・秘境地域を専門に紹介する旅行会社より連絡があり、新たな事業として、今春から、多摩地区に限定した外国人向けのインバウンド事業を展開するに当たり、特に外国人が好む春の花見ツアーに注力していて、サイトに掲載する写真を探していたところ、当フォーラムの「多摩川夢の桜街道」の桜の写真が目にとまり、ぜひ使わせてほしいと依頼がありました。先日、写真掲載の連絡をいただきました。それが、皆さんにお配りしたものです。下欄には、英文で多摩川フォーラムのクレジットを入れていただきました。このように、民間レベルでは、外国個人旅行者をターゲットにした日帰りツアーなど、多摩の魅力の世界に発信する動きが具体的に出てきております。

このように、特に、インバウンド戦略として、「多摩川夢の桜街道」のホームページの英文化は効果的であり、これについて、平成31年度の事業予算化に向けて検討を始めたところです。なお、多摩川フォーラムの英文呼称である Forum for the Beautiful Tama River については、フォーラム規約に明記したく、規約改正は総会の議決事項であることから、平成30年度総会において上程したいと考えております。

また、山崎運営委員からは、せっかくこれだけの行政や企業が集まっているのだから、会員が行っているイベントや事業を公表できる場を作ってもらいたいとのご意見をいただきました。細野会長と協議のうえ、運営委員会の時間設定について、現状は90分で開催していますが、次回より運営委員会終了後に30分のお時間をとって、行政や団体、個人の意見交換やアイデア交換の場にするため、懇談会とすることに決まりました。そこで、まず始めに、来年度部会についても、運営委員会同様に、終了後に30分のお時間をとって懇談会にするかどうか、皆さんにご意見を伺いたいと存じます。

(渡邊部会長)

それでは、皆さん、ご質問やご意見がありましたら、お願いします。ホームページの英文化について、それほど反対は無いと思いますが、予算の問題くらいでしょうか。

(事務局)

英文化について補足説明します。英文化を簡単に行うのであれば、翻訳ソフトを導入することですが、自動翻訳には限界があり、正しく翻訳できない場合があるので、翻訳内容を検証する必要があります。

多摩川フォーラムのホームページは2種類あり、まず優先すべきなのは「多摩川夢の桜街道」のホームページですが、全部で札所が88カ所ありますので、プロの翻訳家に頼むと1ページあたり1万円としても、全ページで88万円もかかってしまいます。そこで、多摩川フォーラムのネットワークを通じて、例えば学生にお願いし、1つの札所を3千円くらいで翻訳してもらえれば、全ページで26万円ほどになります。その他にシステム開発費として100万円程度かかるようです。まだ柔らかな話ですが、事務局で検討を始めたところです。

(渡邊部会長)

多摩川フォーラム会員の中には英語が得意な方もいらっしゃると思いますので、そういう方に協力していただくと安くあがるのではないかと思います。英語に長けている人でプロジェクトチームを作るのも良いのではないかと思います。

(事務局)

澤田アドバイザー、英文化に関して何かご意見はありますか。

(澤田アドバイザー)

東京オリンピックもありますし、ぜひ実現していただきたいですが、お金の問題もありますので、学生さんへのアプローチが一番良いと思います。

(藤井 様)

桜の咲く期間は、1～2週間と短いです。もし英文化するのであれば、春だけではなく多摩川の四季を一緒に入れないと持たないと思います。

(事務局)

確かにその通りです。しかし、来年の春に「多摩川夢の桜街道～桜の札所・八十八カ所」のリニューアルを行う計画ですので、それに合わせて英文化もできれば、インバウンドを見据えて非常に効果的ではないかと考えております。まずはホームページのリニューアルと英文化、そしていずれは夏・秋・冬と展開できれば理想的だと考えております。

(富国生命保険相互会社 立川支社 市場開発グループ 課長 梶田 俊樹 様)

今、スマホでホームページを開いてみましたが、現状でも非常に見やすいです。

(渡邊部会長)

英文化については異論が無さそうなので、事務局で色々と工夫していただき、進めてください。次に、部会のあり方についてご意見を伺います。

(事務局)

ここ数年、東京都にご協力いただき、年に2～3回、運営委員会や部会の冒頭で15～20分程度の講話を設けることがあります。これは非常に好評なので、続けていきたいと思っておりますが、東京都以外でも、多摩川フォーラム会員の中にはお話できる方が沢山いらっしゃいます。先日の運営委員会では「せっかく集まる機会を活用して、皆が色々な情報を持っているので、ひとり1分でも良いから話をし、情報を共有したほうが良い」というご意見がありました。細野会長も賛同され、運営委員会については時間を30分延長して懇談会を設けることに決まりました。部会についても、皆様のご意見を伺いたいと思います。

(奥山アドバイザー)

以前、「部会でも参加者名簿をもらいたい」とお願いしました。何故なら、誰が参加しているか分からないのに、意見を申し上げますと言われても困るからです。「こういう人が来ているのであれば、こんな意見を言えばどこかで役に立つのではないか」と思います。「多摩川に関わっている人たちが集まっている」というだけで、どこの誰が来ているかも分からないのに、自分の意見を言っても、上の空かもしれないし、認めてもらえないかもしれないという不安があります。ですから、こういう部会を開催する時は、事前に名簿を配ってもらいたいです。そうすれば、部会ではお話で

きなくとも、後日その方に連絡を取る時に、「部会に参加した者です」と話せば、相手も安心します。せっかく「多摩川は美しい」と集まっているのですから、今後の交流のためにも身分を明らかにしたほうが良いと思います。

(事務局)

ご意見有り難うございます。これは事務局が「手間だから」と配付していない訳ではありません。名簿は毎回作成しております。運営委員会では座席も指定し、座席表を出席された方全員に配付しています。一方、部会については、誰でも自由に参加できる、すなわち、身分を明かさずに参加できるということで、実際に身分を明かしたくないという方もいらっしゃるので、名簿は配付してきませんでした。また、個人情報の問題もあり、他の会議でも名簿は配付されません。名簿の配付が皆さんの総意であれば、検討させていただきたいと思います。

(渡邊部会長)

名前と所属くらいの情報であれば、名簿を配ってもよろしいでしょうか。名簿を配付することに反対のご意見はありませんか。

(事務局)

部会は物事を決める機関ではないので、いただいたご意見は前向きに検討し、最終的には会長にご判断いただきたいと思います。

(渡邊部会長)

名簿の件はよろしくお願ひします。部会後の懇談会について、ご意見はありますか。例えば「多摩川酒蔵街道」という事業がありますが、具体的にどんな結果だったのか、小澤酒造さんにお話してもらっても良いかもしれません。また、京浜河川事務所の方に来ていただき、生態系保持空間についてお話を伺う機会を設けるのも良いかもしれません。とうきゅう環境財団から様々な研究に関して助成金をもらっていますが、その事についてお話を伺っても良いかもしれません。もし懇談会をやるとすれば、4月以降となりますが、ご意見をお願いします。

(富国生命保険相互会社 立川支社 市場開発グループ 課長 梶田 俊樹 様)

事務局の負担にならず、色々な人からお話を聞けるのであれば、私は賛成です。

(渡邊部会長)

もし実施するのであれば、「こういう話を聞きたい」「こんな人がいますよ」等の情報を事務局にお寄せいただきたいと思います。ただし、部会の回数は限られています

ので、お寄せいただいた情報の中から選別することになります。

(事務局)

クラブツーリズムの梶田様、何かご意見はございますか。

(クラブツーリズム株式会社 特別顧問 梶田 隆弘 様)

30分程度であれば、会議が延びても問題ありませんので、お話が聞けるのであればよろしくお願ひします。

(渡邊部会長)

「懇談会は必要ない」という反対意見の方はいらっしゃいますか。狛江市の池田様、何かご意見はございますか。

(狛江市 企画財政部 政策室 企画調整担当 主任 池田 優 様)

前回の運営委員会に初めて参加させていただき、部会も今日が初めてですので、まだ良く分からない部分もありますが、運営委員会での講話は非常に参考になりましたので、30分延びること自体は問題ないと思います。

(渡邊部会長)

明星大学の滝井様、いかがでしょうか。

(明星大学 地域交流センター長 滝井 寛 様)

私も今日初めて参加したので、そういった講話を聞く機会が増えれば、多摩川フォーラムについてますます勉強できますし、様々な知識も得られるので、賛成です。

(事務局)

皆様のご意見を伺うと、反対する方はいらっしゃらないようなので、事務局でやり方を考えたいと思います。部会ご案内の際に、講話や懇談会の内容についてお知らせできるようにしたいと思います。

(渡邊部会長)

それでは、これからの10年に向けて、その他のご意見はありますでしょうか。

(藤井 様)

皆様のお手元に、新聞記事をお配りしました。「新宿－多摩 小田急と火花」という見出しがあります。京王電鉄が、新宿－多摩センターや八王子間を往復する「京

王ライナー」を走らせるという記事です。小田急線も、3月の複々線化工事完了に伴い、大幅に増発するそうです。一方で、青梅線は減便になっているようですが、それは利用客が減っているからです。

毎回申し上げておりますが、高尾山がミシュランガイドに取り上げられた後、観光客が爆発的に増えており、飽和状態です。御岳山もミシュランガイドに載せてもらう交渉をしたらどうでしょうか。これが実現すれば、恐らく青梅線は増便になるでしょう。青梅市の吉川英治記念館が閉館になるという話も聞いていますし、青梅の梅再生も見通しが付いていません。高尾山と話し合い、飽和状態の観光客を御岳山にシェアしてもらったらどうでしょうか。

(富国生命保険相互会社 立川支社 市場開発グループ 課長 梶田 俊樹 様)

御岳山のケーブルカーは、確か京王が運営しているのではないのでしょうか。

(藤井 様)

御岳山のケーブルカーを京王が運営しているのであれば、高尾山との話し合いもしやすいかもしれません。御岳山の観光客が増えれば、JRも喜びますし、お互いがWin-Winの関係になります。

(渡邊部会長)

有り難うございました。御岳山の観光をもっと増やそうというご意見でした。他にご意見はございますか。

(澤田アドバイザー)

皆さんは「多摩川絵図」をご存じですか。1845年に制作されました。これはレプリカで、私個人のものですが、通し番号が付いていて、10メートルもある巻物です。原図は多摩市の文化財になっています。多摩川に関して、こんなものもあることだけでも知っていただきたくてご紹介しました。

本日配布された、とうきゅう環境財団の財団だより「多摩川」の表紙に描かれている神戸川（かのとかわ）のイラストですが、私が若い頃、ロッククライミングの練習場でした。こういった現場を、皆さんにもっと見ていただきたいと思います。先日の運営委員会で、多摩川の一滴「水干」を有志で見に行こうという話が出ました。現場を見なければ何も始まりませんので、こういった会議も必要ですが、ぜひ現場を見ていただきたいと思います。私は東京都公認のガイドです。ボランティアではありません。ガイドを頼まれるのは、全員が女性です。男性をガイドしたのは、大田区議員くらいです。奥多摩は、遭難死ベスト4です。毎年10人くらい亡くなっています。

先ほど御岳山の話が出ましたが、御岳山には宿坊があります。高尾山とは形態が違

います。滝行も出来ます。外国人も滝行を行います。御嶽駅を降りるとインフォメーション・センターがあるのですが、残念なことに、看板がカタカナで書いてあります。高尾登山鉄道のケーブルカーがありますが、あれは京王ではなく、単独です。御岳山のケーブルカーは京王です。今年は御岳山の観光客が多かったです。興味があれば私に声を掛けてください。

(渡邊部会長)

時間が押し迫っていますので、事務局からその他ありますか。

(事務局)

意見が出尽くした感はまだないので、何かあれば事務局に忌憚のないご意見をお寄せください。

5. 総括 (副会長)

(小倉会長)

今後、2時間でなるべく多くの方が発言できる場を設けるのであれば、参加者の中で2～3つにグループを分け、ワークショップ形式にすれば全員が発言できます。グループで発言内容をまとめ、代表者が発表する形も考えられるのではないかと思います。

6. 閉会 (部会長)

(渡邊部会長)

小倉副会長からの提案も含め、事務局に意見をまとめていただき、20周年に向けて新たな展開を進めていきたいと思います。本日は、長時間にわたりご意見をいただき、有り難うございました。以上で本日の三部会合同部会を終了します。

以 上